

# 保育の喜びコーナー

(2019年1月現在)

## 【未満時担当保育士】

### 1. 未満児の保育（生活）の中では…

「信頼関係」を結べた時には、保育士冥利につきます。

- ・笑って保護者の手から私たちに抱っこされる時
- ・担任以外の保育士に人見知りをして後追いをする
- ・子供同士で座っている時の私たちの膝の奪い合いをする



日々の生活の中で保育士の行動を見て模倣するようになります

12ヶ月児が10ヶ月児が泣いているのを見て、側に行き頭をなでたり

背中をトントン、顔を覗き込むなど…

集団生活の中でしか見られない光景は、とても微笑ましく、嬉しいこと

### 1. 0才児クラスの子が全員歩けるようになった

表情がなかった子が笑うようになった

意思表示などの4月に比べての成長を感じた時など、発達段階を見守れる

素晴らしさや、子どものすごさを強く感じた

(できなかったことができるようになる)

### 2. AさんがBくんの歩き方マネる、Cくんのキャラクターの様な色々な面白表情、

Dくんの勢いあまりすぎる行動など、一人一人の個性や性格の面白いところが見えるのが楽しい。

### 3. 言っていることを理解してボールの片づけができたり

Dくん→うなずく、首をふる、チリ箱へもっていくなど…のびしろのすごさ

他のクラスの子が名前を憶えて関りにくるなど…また楽しい部分あり

### 【1才児担当保育士】

1. 2018年10月頃1才児のMさん、泣いているお友達を気にかけて顔を覗きみたり、背中をさする姿を見て、思いやりの心が育っていて嬉しかったです。
2. 卒園する年長組の子からの感謝の手紙をもらったこと。



### 【フリー保育士】

#### 1. 8月のこと

門扉から玄関までのスロープの花壇には花が咲き乱れ、ピンクに白、赤（バーベナ）の小さな花びらが風に吹かれ、スロープに沿って花道のように落ちている。その小さな花びらはまだ色も鮮やかで形もはっきりしており、掃くにはとても惜しい…。このかわいい小さな花びら誰の目に留まるかな…？誰がこの花びらに気づいてくれるかな？という思いで掃かずにいました。

数日後、1才児のAくん（2才4ヶ月）が発見！！にこにこ元気な声で朝のあいさつを交わした後「ハイ、かわいい花でしょう！」「どうぞ」と持っていた花びらを差し出した。思いが通じた！見てくれた！毎日行き来する門扉から玄関までのスロープ、いつもとちがう変化（毎朝掃き掃除をしている）に気づいたことに感動です。この喜びを共有できました。あまりの嬉しさに、もらった花びらは私の髪かざりにしました。



### 【1才児担当保育士】

1. おやつ後のベランダで2才児のAさんとBさんが  
何名かの友だちをリードして

♪トントント～ン こんばんは ひとばんとめて  
くださいな トントント～ントントントン  
ほんとにほんとにおきのどくう～  
う～ちはたたいま ま～いんで～  
どなたもおとめはできません～

聖誕劇の歌をうたい楽しんでいます。



2. 食事中に2才児のCさんが私のお皿を見て  
「せんせーピーマン食べない？」とCさん。  
『苦手なの、Cちゃんは食べれた？』と聞くと  
お皿の中にはたくさんのピーマン！！  
2人で笑いました。

### 【2才児担当保育士】

1. 2015年、屋上でNさん（2才児）

その頃、不安定の時期で1対1の関わりをよく求めていたNさん。

私が屋上に水かけに行く際に、一緒に連れてお手伝いで水かけを一緒にやりました。

その後、少しだけ屋上で遊ぶと、Nさん方から「たのしいなあ～」と満面の笑みで言ってきたのがとても心に残り、喜びを感じた時間でした。

### 【4才児担当保育士】

1. 2学期になり、友だちがケガをした時や体調不良で休みの時、気にかけて  
「お友だちの事、お祈りしよう！！」と言ってくれるようになりました。

## 【パート保育士】

1. 1 才児の部屋へおやつを運ぶ為、ワゴンを押しホールを進んでいる時の出来事です。  
昼寝から起き、ホールで着替えをしていた 2 才児の Aくんが「こんにちは」と笑顔であいさつをしてくれました。同じように着替えていた子ども達が、次々に「こんにちは」とあいさつ。元気なあいさつ（声）がホールに響いていました。子ども達の元気な明るい声にも私も元気をもらいます。
2. 17 時 30 分から 2 才児の保育補助に入る予定でしたが、私の確認ミスで時間より遅れてクラスに入りました。申し訳なく気落ちしている私の雰囲気を感じたかのように、2 才児の Rさんが近づき「先生、来ないからさみしかったよ。どこ行ってた？」と話しかけてきました。子どもの持っている優しさに改めて気づきました。
2. 降園の時間、父母や家族の迎えに全身で喜びを表し、父母に抱きつき、笑顔で帰る子どもたちの表情に触れると安堵します。と同時に保育士としての大切な役割を感じます。

## 【パート保育士】

1. 食事の後、片付け等私が忙しく動いていたら、Hくん（3 才児の時）が「手伝います？」と声をかけてくれた。  
「大きくなったら、人を助ける仕事をする」とお話ししてくれ、4 才児でこんなことを言えるなんてすごいなあと感じました。
2. 「本物を見る会」で海勢頭豊さんがアフリカのダンス等、初めて生でふれて、自然と涙がでてくるような感動を子ども達と一緒に味わえたことが良かった。

## 【主任保育士】

### 1. わたしは神様が大好きです

先生、聖書のお話をありがとう

さんび、手話で一緒にしよう

黒い心はダメだよねえ、白い心が好き

聖書のお話を語ることを心より感謝します



## 【用務員Yさん】

### 1. 用務としての働きで子ども達との接点を通して

トイレでの出来事。毎年恒例のように、3才児での新学期の様子は、

トイレ掃除をしている私に「何しているの？」と、どの子もよく質問する。

『おそうじをしているのよ』『使ったら汚れるのできれいにするのよ』

「ふ～ん」ある子はそこまで。

ある子は「なんのセンセイ？」『おそうじのセンセイよ』『ふ～ん??』

何ヶ月後、わかった！とでも言うかのように

「おそうじのセンセイなんだね！！」

Yくんは今でも私と顔を合わすたびに「おそうじのセンセイだよね！」

と言ってくれる。そして「おそうじをしてくれてありがとう」とも。

園でいろんな立場の大人が働いている様子から認識してきた。

心が成長しているんだなあーと嬉しくなる。

## 2. 同じく3才児のトイレでの出来事

Sさんが3才児の頃。よくおしゃべりをしてくれるSさん。

用を足しながら

「あのね、わたしね、保育園くるのって～も楽しみなの」

『えっどうして?』

「だってね、今日はどんなことがあるのかなあーとか、

おともだちとあそぶの考えたりとか、いっぱいいっぱい…ハッピーなの」

胸を打ちながら

「こころがね、ハッピーなの！」

Sさんのキラキラした目から喜びがあふれてきました。

### 【園長】

#### 1. 1月4日夜、同期会に卒園生18名中8名が参加しました。

赤ちゃんの時から5～6年保育して卒園後、12年経過。来る3月には高校を卒業する18歳になった皆さんの門出を園の保育士たち手づくりの夕食で祝福する一時です。

男子は175cmの身長で園長よりも高くなり、女子はピチピチギャルになり輝いていました。4月から県内外の大学やリハビリ専門学校、ロンドン留学、保育士養成の短大などの進路や、保育園時代は玄米ごはんを食べたこと、聖誕劇でヨセフや羊飼、博士をしたこと、担任の先生にメーゴーサーされた思い出を語ってくれました。

この一時は、彼らを保育した保育士たちもお母さんの顔になり、笑顔一杯でその成長を喜びました。園長にとっても卒園後の成長が見える、幸せな時となりました。